

ダウン症の奏者 家族で演奏披露

28日にコンサート



全国でリコーダーの演奏を続けている荒川知子さん

障害のある人もない人も一緒にあって音楽を楽しむという「ふれあいコンサート」が28日、千葉市民会館（同市中央区）で開かれる。ダウン症の障害がありながらリコーダーの演奏を

続ける荒川知子さん（29）は仙台市在住と家族によるファミリーアンサンブルなどが行われる。

荒川さんは千葉市出身で、小学校を卒業するまで市内の特別支援学級で学んだ。9歳から始めたリコーダーで才能を発揮。澄んだ音色が評判を呼び、CDも発売されている。現在は仙台市の障害者授産施設で働きながら、全国各地で演奏活動をしている。

父健秀さんと兄洋さんはフルート奏者、母幸子さんはピアノ教師という音楽一家で育った荒川さん。当日は、東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」などを家族で演奏する。

NPOちば特別支援教育の主催で、3回目。市内の障害者施設などで音楽活動をしている7団体も合唱や

ダンスなどを披露する。

午後1時開演。チケットは500円で、事前の申し込みが必要。氏名と連絡先を明記し、ファクス（043・201・0575）またはメール（ticket@csne.jp）で。15日締め切り。当日券もある。